

第72期 報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

輝く未来の創造「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します。



RIX リックス株式会社

証券コード 7525

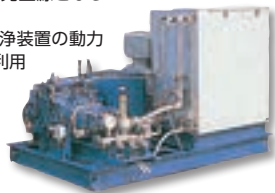
事業紹介

商品

圧力発生機

プランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機(TOX)

異種金属板を接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする外部からダストが侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁(ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を調整する弁
主にタイヤメーカーの加硫機に使用



商社機能

製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、BGA等)の製造工程に使用されるフラックスを除去し、純水にて精密仕上げ洗浄を行う装置



付属機器・部品

クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設備などに水や研磨剤などを供給する回転継手



NC高圧洗浄機(ジェットフレックス)

自動車業界向けの、高圧水を利用した部品の深穴の金属バリ取装置



工作機械用ロータリージョイント

マシニングセンターでクランツ液をスピンドルから噴射する用途に使用する回転継手



メーカー機能

営業区分

リックスはお客様のニーズに迅速・的確に対応できる顧客密着型の「メーカー商社」という業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他



ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社第72期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第72期報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 松浦賢治

課題解決型の「メーカー商社として」世界の産業界に貢献します。

Q 当期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は13.8%増の384億7百万円、営業利益は36.5%増の22億87百万円、経常利益は37.6%増の24億53百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は55.1%増の16億86百万円となりました。

当期の世界経済は、堅調に推移する欧米経済に加え、中国や新興国経済においても回復基調となっており、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方、日本

経済は、当期末にかけての円高の進行で先行きに不透明感が残るものの、企業収益や雇用情勢の改善が続くなか、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループでは中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」に基づく施策を推し進め、経営課題の解決と経営目標の達成に取り組んでまいりました。

この結果、経常利益(連結)20億円の目標を達成することができました。

Q 当期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 当社グループにおける業界別セグメントの成績は、すべてのセグメントで増収を達成しました。

鉄鋼業界向けでは、高生産下における顧客のニーズである安定操業に対応して、老朽更新や設備改善の案件が増えました。高炉送風設備や厚板塗装設備向けの機器・装置などを受注したほか、原料コンベア設備関連の補修工事や輸送装置の点検整備などが売上増に貢献しました。この結果、売上高は117億6百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

自動車業界向けでは、自動車および自動車部品メーカー向け洗浄装置の引き合いが好調であり、自動車部品メーカー向け制御監視装置やポンプ類の販売が大幅に伸長したほか、工作機械向けの自社製品の販売も売上増に寄与しました。この結果、売上高は101億49百万円(前年同期比21.4%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、旺盛な新設・改修案件に対して、修理再生ビジネスを中心に電気自動車部品メーカー向け制御監視装置や接合ツール・ポンプ類の販売が引き続き伸長したほか、シール類、自社継手の販売も売上

増に繋がりました。この結果、売上高は42億31百万円(前年同期比23.0%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、タイヤ加硫機用バルブ関連および断熱板の受注が好調を維持し、研掃装置も引き続き伸長し、売上増に貢献しました。この結果、売上高は28億62百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

高機能材業界向けでは、自社製品の湿式微粒化装置、排ガス洗浄設備を受注したほか、ポンプ・フィルターなど消耗品の販売が好調を維持し、売上増となりました。この結果、売上高は15億19百万円(前年同期比34.9%増)となりました。

環境業界向けでは、リサイクル施設向けの設備を受注したほか、下水処理施設向けの継手商品、水処理関連商品の販売が堅調のため、前年同期の実績を上回る推移となりました。この結果、売上高は17億18百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

紙パルプ業界向けでは、製紙会社向けで排ガス処理設備やタンク配管工事を受注したほか、ポンプ類の販売が伸び、売上増に貢献しました。この結果、売上高は7億32百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

Q 今後の経営ビジョンなどについて教えてください。

A 新たにスタートする中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

世界の産業界に貢献するグローバルニッチトップの企業グループとして成長を果たすべく、当社グループは中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」を推進してまいりました。当期はその最終年度でありましたが、同中期3ヵ年計画で掲げた3つの事業方針「メーカー商社のビジネスモデルの進化」「海外事業展開の促進」「人と組織の能力向上」にグループ一丸となって邁進した結果、経営目標であった「経常利益20億円」を達成することができました。

なお今後に向けましては、世界経済は、全体としては回復基調が継続するものと期待されます。

一方、日本経済は、企業の設備投資は堅調に推移するものの、賃金伸び悩みによる個人消費の停滞や更なる円高への移行、人手不足の影響などが懸念される状況にあります。

当社グループとしましては、このような環境下で、顧客の課題解決・高付加価値提案営業に尽力し、2018年度より中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」に掲げる経営目標の

達成に向けて邁進したいと考えております。

以上のことから、平成31年3月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高396億円(前年同期比3.1%増)、営業利益24億円(同4.9%増)、経常利益25億70百万円(同4.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益17億円(同0.8%増)を見込んでおります。

Q 株主還元の状態など株主様へのメッセージをお願いします。

A 普通配当28円に加え、創業110周年を記念した記念配当5円を実施させていただきました。

当期末配当金につきましては、普通配当28円に加え、創業110周年を記念した記念配当5円を実施させていただきました。これにより中間配当を合わせた年間配当金は、前期よりも16円増配となる1株当たり50円となりました。

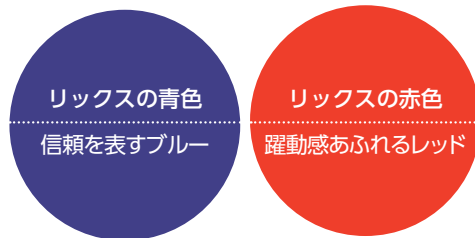
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

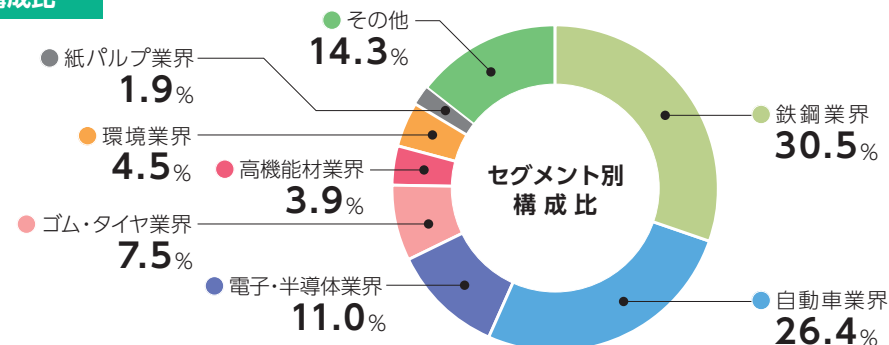
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期 (平成29年3月31日現在)	当期 (平成30年3月31日現在)	科目	前期 (平成29年3月31日現在)	当期 (平成30年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	18,809	21,782	流動負債	11,540	12,992
固定資産	6,766	6,934	固定負債	1,477	1,589
有形固定資産	3,053	2,925	負債合計	13,017	14,581
無形固定資産	116	136	純資産の部		
投資その他の資産	3,596	3,873	株主資本	11,132	12,895
資産合計	25,576	28,717	資本金	827	827
			資本剰余金	683	1,057
			利益剰余金	10,027	11,417
			自己株式	△406	△407
			その他の包括利益累計額	803	1,018
			非支配株主持分	622	222
			純資産合計	12,558	14,135
			負債・純資産合計	25,576	28,717

連結損益計算書 (単位:百万円)

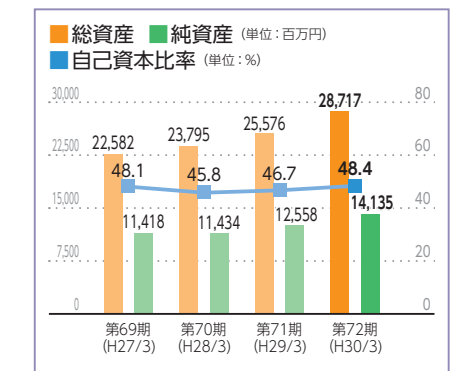
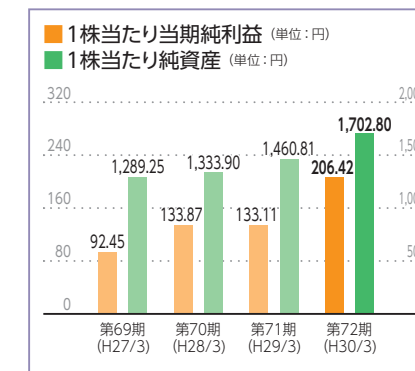
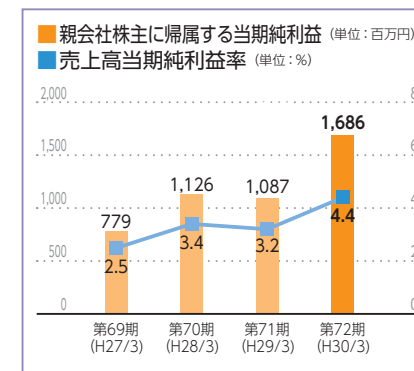
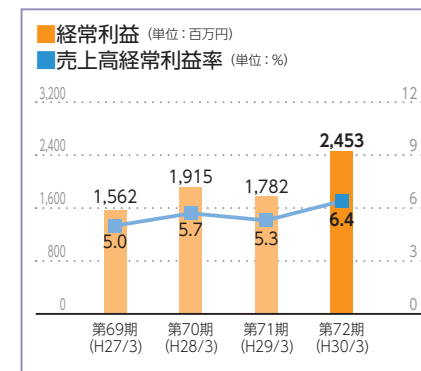
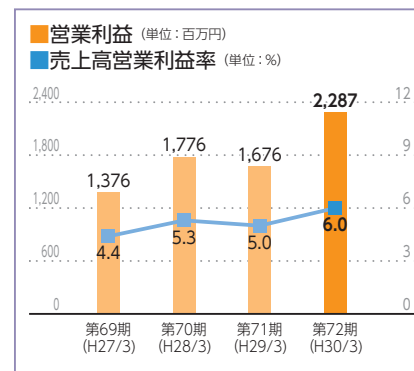
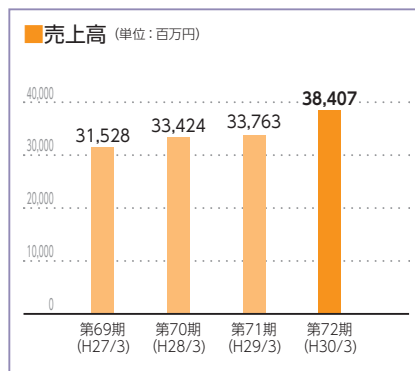
科目	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	当期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
売上高	33,763	38,407
売上原価	26,516	29,960
売上総利益	7,247	8,446
販売費及び一般管理費	5,570	6,158
営業利益	1,676	2,287
営業外収益	140	179
営業外費用	34	14
経常利益	1,782	2,453
特別利益	38	3
特別損失	100	13
税金等調整前当期純利益	1,720	2,444
法人税等	569	739
当期純利益	1,151	1,704
非支配株主に帰属する当期純利益	63	17
親会社株主に帰属する当期純利益	1,087	1,686

連結包括利益計算書 (単位:百万円)

科目	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	当期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
当期純利益	1,151	1,704
その他の包括利益	225	231
その他有価証券評価差額金	252	196
為替換算調整勘定	△70	28
退職給付に係る調整額	42	4
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
包括利益 (内 訳)	1,376	1,935
親会社株主に係る包括利益	1,282	1,900
非支配株主に係る包括利益	94	34

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	当期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,745	895
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478	△233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△706	△471
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	521	191
現金及び現金同等物の期首残高	2,687	3,209
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2
現金及び現金同等物の期末残高	3,209	3,403



当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2015年度に始まる中期3ヵ年計画「戦略

ビジョン2017」において、経常利益(連結)20億円の達成を目標としておりましたが、最終年度である2017年度に達成することができました。

これを受けて、2018年度より中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

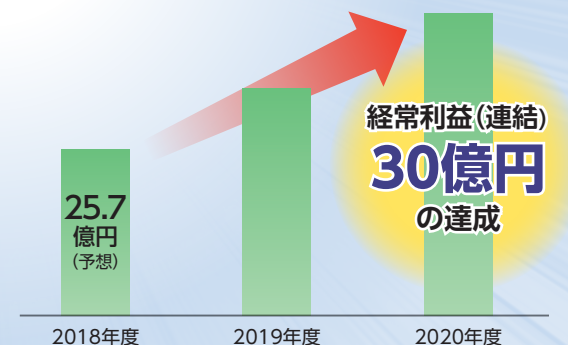
戦略ビジョン2020

2018年度～2020年度

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップさせながら、新製品開発・新事業開発・新市場開発を推進し、新しい高付加価値を創り出します。その高付加価値を、各々の業界分野のナンバーワン顧客企業に、適時にまた安定して、世界中どこにでも、提供できるグローバルニッチトップの開発型企業集団を目指します。

目標



方針

1. メーカー商社のビジネスモデルの更なる進化

- ① 開発機能の強化(製品、商品、市場)
- ② 顧客接点でのPDCAのスピードUP
- ③ メンテナンス機能・品質保証機能の強化

2. グローバル展開の加速

- ① 自社・ブランド商品の世界販売加速
- ② グローバルニッチトップ商品の開発強化
- ③ 中国・北米・欧州の事業強化

3. リックスグループとしての協業強化

- ① グループにて戦略の統一性
- ② 事業機能集約による最適化・オンリーワン化
- ③ 統括機能の強化(各社GNTを目指す)

4. 人と組織の能力向上

- ① 人事・教育制度の根本的な見直し
- ② 営業支援システムの刷新
- ③ CSR強化

「第7回ものづくり日本大賞」特別賞を受賞

当社の湿式微粒化装置G-smasherの開発活動が、第7回ものづくり日本大賞 製品・技術開発部門にて、特別賞を受賞いたしました。

ものづくり日本大賞とは、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきたものづくりを着実に継承し、さらに発展させていくため、製造・生産現場の中核を担い、第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を顕彰する制度です。

受賞概要

1. 受賞件名 ナノ粒子のダメージレス分散を実現する湿式微粒化装置「G-smasher」の開発
2. 受賞者

リックス株式会社	森光 孝典
リックス株式会社	加藤 隆司
リックス株式会社	星野 高明
リックス株式会社	大石 和義
熊本大学 大学院自然科学研究科	波多 英寛
福岡県	牧野 晃久
福岡県工業技術センター機械電子研究所	周善寺 清隆



湿式微粒化装置G-smasher

二次電池用電極材料、微細配線用金属材料、触媒、医薬品など様々な分野で利用が進むナノ粒子をダメージレス、コンタミ(不純物)レス、無発熱で分散する技術を世界で初めて実現致しました。

日本の高機能素材業界における先端材料の開発、製造に使用されており、自動車や電機製品製造業など、産業全体の発展へと波及が期待される他、省資源・省エネルギーにも貢献できる装置です。



2018年2月5日(月)表彰式

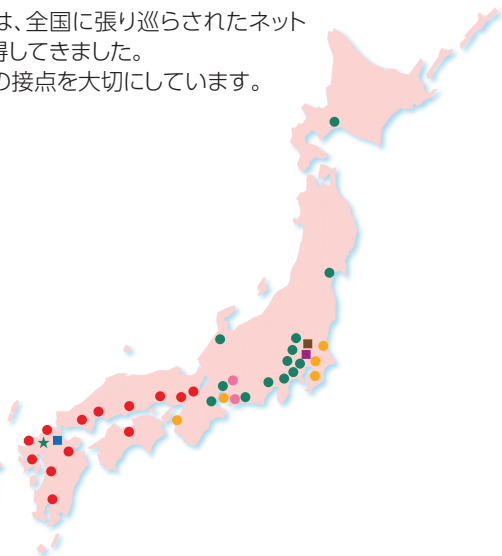
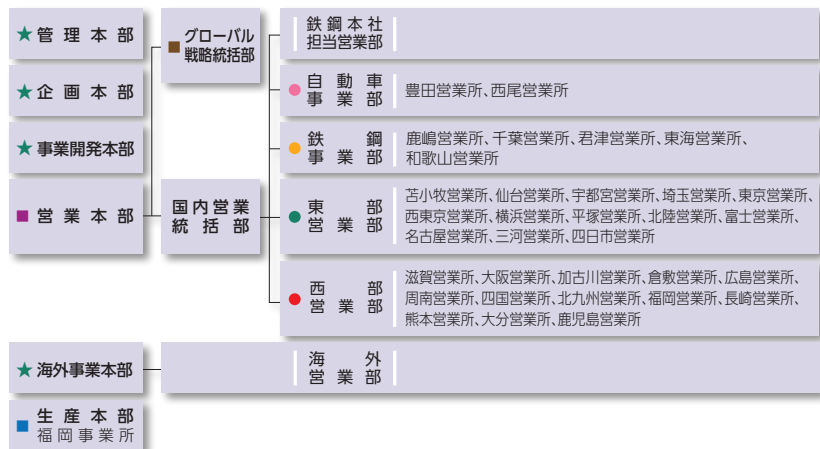
海外ネットワーク (平成30年3月31日現在)



事業所 (平成30年4月1日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。



会社概要 (平成30年3月31日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 367名(連結578名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役および監査等委員である取締役 (平成30年6月27日現在)

代表取締役社長 松浦 賢治	取締役 伊佐 清人
専務取締役 柿森 英明	取締役 田原 俊二
専務取締役 川久保 昇	取締役 (常勤監査等委員) 坂本 克彦
常務取締役 荻田 透	取締役 (監査等委員) 小西 正純(*)
常務取締役 芹川 康介	取締役 (監査等委員) 武藤 靖(*)
取締役 橋本 忠	取締役 (監査等委員) 植松 功(*)
取締役 安井 卓	
取締役 江頭 裕明	
取締役 多々良 浩昭	

(*) 社外取締役

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

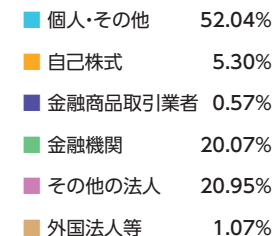
- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 6,189名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
リックス取引先持株会	485	5.94
安井玄一郎	417	5.10
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
リックス従業員持株会	252	3.08
安井龍之助	225	2.75
園田和佳子	172	2.11
山田貴広	166	2.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	160	1.97
株式会社三菱東京UFJ銀行	152	1.86

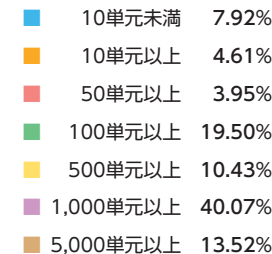
注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 当社は自己株式457千株を保有しております。
 3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で商号を株式会社三菱UFJ銀行に変更いたしました。

株式分布状況 (平成30年3月31日現在)

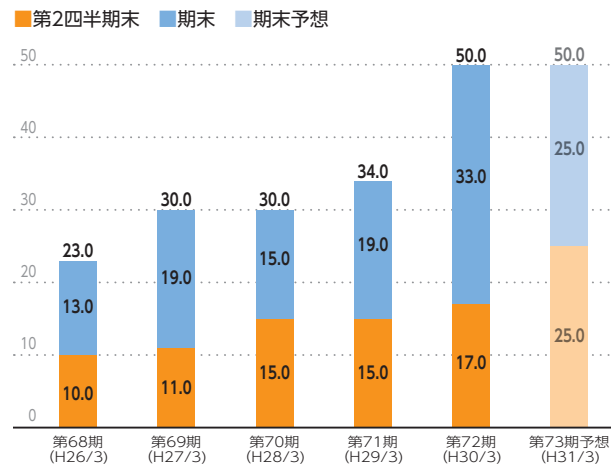
所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



1株当たり配当金の推移 (単位:円)



株主メモ

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 配当金受領
株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人
および特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関
- ◆ 株式に関する各種手続の申込先について
・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ◆ 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
- ◆ 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <https://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
 - 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索 



RIX リックス株式会社

〒812-8672

福岡市博多区山王一丁目15番15号

TEL (092) 472-7311

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。